

令和6年度総会を開催

5月11日（土）宮崎公立大学交流センター多目的ホールにおいて、総会を開催しました。

出席27（名・団体）、委任状提出126（名・団体）、有資格計153（名・団体）となり、会の成立の後、議長、記録者、議事録署名人選出を行い、議事に入りました。

第1号議案「法人登記および財務事務上の問題とその対応」第2号議案「令和5年度事業報告」、

第3号議案「令和5年度決算報告及び監査報告」、第4号議案「令和6年度役員」、第5号議案「令和6年度事業計画（案）」、第6号議案「令和6年度予算（案）」第7号議案「その他の議案」①過年度財務諸表②会員名簿の総会資料への掲載について③役員報酬について、をご審議いただきました。

第1号議案では、第2期役員が就任された時点で登記が必要であったのに、それを怠ったため、過料が発生したこと。過料代については、いったん会計から支出し、後日理事監事から寄付を受け付け、補填をしたことを説明し、お詫びをいたしました。

それを含めて議案については、すべて承認いただきました。また、審議の中で、ひなたネットワーク設立の趣旨をぜひ定時総会の時に提示をしてほしいというご意見をいただきました。さらに昨年意見として出されました、役員への報酬については、継続して検討するということになりました。貴重なご意見、本当にありがとうございました。今後の活動にしっかり生かしていきたいと思っております。

また、運営に当たっては、コンプライアンス強化及び運営合理化を新たに努力目標に掲げ、ガバナンスチェックや外部機関との相談体制を構築し、体制の強化を図ってまいります。今年も皆様と一緒に宮崎の社会教育を盛り上げていこうと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。



【役員】（第3期理事）（任期：令和5年5月～令和7年5月）

| | 役 職 | | 氏 名 | 所 属 |
|---|------|------|--------|--------------------|
| 1 | 会長 | 代表理事 | 竹内 一久 | 諸塚村教育長 |
| 2 | 副会長 | 理事 | 枝元 倫介 | ホテルマリックス会長 |
| 3 | 副会長 | 理事 | 恵利 修二 | 木城町教育長 |
| 4 | | 理事 | 大津 新 | 木城町教育委員会 |
| 5 | | 理事 | 新 純一郎 | 元小戸小学校長 |
| 6 | | 理事 | 脇谷 のり子 | 宮崎県議会議員 |
| 7 | 事務局長 | 理事 | 榎木 満 | 宮崎県教育研究連合事務局長 |
| 8 | | 監事 | 難波 裕扶子 | THINK OF OTHERs 代表 |
| 9 | | 監事 | 鎌田 次郎 | 美郷町教育委員会教育課長 |

お知らせ

今年度ひなたネットワークは創立5周年を迎えます。それを記念して、創立5周年記念研修会を、**11月9日(土)**に計画しています。

内容は、記念講演会、インタビューダイアログ、祝賀会等を計画しているところです。

ぜひ、会員の皆さまのそれぞれの年間計画に入れていただき、多数ご参加いただきますようお願いいたします。

詳しいことが決まりましたら、皆様にご案内いたします。どうぞ期待ください！

やってみよう地域活性化応援事業

今年度は以下の3団体に決定しました。地域を盛り上げる活動に期待します。

| 市町村 | 団体名 | 活動内容 |
|------|---------------------------------|---|
| 高千穂町 | 高千穂森の会 | 鳥屋岳を活動フィールドとする森づくり団体で、鳥屋岳内に48種の希少生物が自生しているとされ、特にクマガイソウとキレンゲシウマは国内有数規模の自生地であり、鑑賞客が多く訪れる。しかし、鳥屋岳の山麓集落では過疎化が進行し、近年荒廃した廃屋や畑、屋敷林が出現し景観を損ねている。この集落内の廃屋や畑、屋敷林を高千穂森の会が譲り受けたので、整地した後、広葉樹を植栽し、都市と山村との交流を通じた地域資源管理の活動拠点として、誰でも憩うことのできる森林公園を造成する。 |
| 都城市 | 宮崎県立 都城商業高等学校 共創ウェルビーイング部 | 地域の「ナンバープレイスづくり」として、ゆるやかなつながりを生み出せるような企画を月1度のペースで高校生が主体となって実施している。多様な企画を実施することによって、いままですら地域にあるコミュニティにも、より足を運びやすくなるような空気感を創っていくことを目的として活動している。 |
| 都城市 | 紙芝居 まねきねこの会 | 紙芝居を通じて①市民や高齢者に紙芝居が取り持つ心のつながり（共感）を味わっていただき、心豊かな毎日の手助けを支援する。②子供たちが紙芝居の世界観を十分に味わうことで、生涯を通じて心の栄養（糧）として残るようにしたい。③私たち上演者も地域とつながり、生きがいとしたい。ことをコンセプトとして活動している。 |

取組の内容については、順次お伝えいたします。

第41回中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会

5月18日（土）～19日（日）に福岡県立社会教育総合センターにおいて第41回中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会が開催されました。



その中で、18日（土）の実践発表において、「やってみよう地域活性化応援事業」で補助を受けた都城市の宮崎花ふぶき一座座長の宮田若菜さんが、『小さな寄席小屋スタイルのチンドン屋「花ふぶき笑劇場」』と題して、笑劇場を開催することで、チンドンを知らない世代との交流や地元のプロやアマチュア団体とのコラボを通じてチンドンの魅力を発信するとともに、地域を元気に明るく笑いのある地域づくりに貢献していることを、発表していただきました。

発表の中で、ひなたネットワークからの補助を受けて活動したことも話していただきました。宮田さんは、事例発表後の大交流会においても、場を大いに盛り上げていただきました。宮田さん、お疲れさまでした。

編集後記

今年度も無事スタートを切ることができました。ひなたネットワークの取組は、他県からも注目されているようです。もうすぐ梅雨に入ります。体調を崩されぬようご自愛ください。